

教 科	家庭	科 目	家庭基礎
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス
使用教科書	未来へつなぐ 家庭基礎365 (教育図書)		
補助教材等	生活ハンドブック (第一学習社)、家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)、調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)		

1 学習目標

- 家庭・家族、衣食住、消費や環境について、生活を主体的に営むための知識と技能を身に付けます。
- 家庭や地域及び社会生活の中から問題を見いだし、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養います。
- 様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養います。

2 学習方法

- 授業、家庭科ノート・調理実習ノート・ワークシートの記入、視聴覚機器の利用、実習など、様々な学習形態を通して、家庭生活を営むために必要な知識や技術を実践的、体験的に学習します。
- 家庭科ノート・調理実習ノート・ワークシートの保管・管理は重要です。きちんとまとめておきましょう。
- 家族の一員として役割を果たすために、家族との会話を大切にしましょう。また、授業で身に付けた知識や技術を定着させるために、積極的に家事を行い、生活の改善・充実に努めましょう。
- 実践力を養うために、ホームプロジェクト、家庭クラブ活動に参加しましょう。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的な知識や技術を身に付けている。	○学習状況の観察 ○ワークシート・ノート ○実験・実習 ○作品・ホームプロジェクト ○定期考査
思考・判断・表現		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、その解決のために論理的に表現するなどして課題解決能力を身に付けている。	○学習状況の観察 ○DVD鑑賞等の感想 ○ワークシート ○ホームプロジェクト ○定期考査
主体的に学習に取り組む態度		様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○学習状況の観察 ○ワークシート ○実験・実習 ○作品・ホームプロジェクト ○ノートや課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、ノートや課題等の提出状況、作品、授業態度・出席状況などを総合して行います。
学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 学習は継続することによってその知識を習得し、活用する能力を身に付けることができます。遅刻や欠席、早退をなくし、教科書などの忘れ物がないようにしましょう。
- 授業中は学習に集中し、私語は慎みましょう。
- 作品製作や実習には真摯に取り組み、必ず提出期限を守りましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	A編 第1章 生涯の生活設計1 1 あなたの将来どうする？	これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標を立て、そのための意思決定について考えます。
5	第2章 青年期の自立と家族・家庭 1 自立への一歩を踏み出そう 2 家族・家庭って何？ 3 将来の自分と家庭を想像する	- 青年期とはどのような時期かを知り、青年期に必要な自立について考えます。 - 男女共同参画社会について知り、実現のためにできることについて考えます。
6	第4章 高齢期の生活と福祉 1 高齢期ってどういう時期？ 2 高齢化する日本を生きる	- 高齢者の生活や社会的な支援の在り方について考えます。 - 我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解します。
7	第5章 共生社会と福祉 1 共生って何だろう？ 2 ノーマライゼーションとは	- 共生社会の重要性について理解します。 - 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考えます。
8	第3章 子どもの生活と保育 1 子どもはどう生まれ育つ？ 2 子どもとどうかかわろう？ 3 これからの子育てとは？	- 親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を学びます。 - 社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解します。
9	D編 ホームプロジェクトに取り組もう！	生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、実践します。
10	C編 第1章 生活における経済の計画 1 将来に向けて家計を考えよう	生涯を見通した経済計画の重要性について理解します。
11	第2章 消費生活と意思決定 1 何をどうやって買う？ 2 かしこい消費者になろう	18歳で大人になるという自覚を持ち、一人で契約する時の注意点や心構えについて理解します。 - 消費者市民社会の実現に向けて、自立した消費者としてどのように行動したらよいかを考えます。
12	第3章 持続可能なライフスタイルと環境 1 未来の地球環境は大丈夫？ 2 私たちにできることは何だろう？	- 持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解します。 - 自分の消費行動が社会に与える影響について理解し、持続可能な社会のためにどう行動したらよいかを考えます。
1	B編 第2章 衣生活と健康 1 衣服の役割って何だろう？ 2 衣服はどうやってつくられている？ 3 衣服の計画・管理を知ろう 4 今後の衣生活を考えよう	- 人間の生活と衣服のかかわり、衣服の主な機能について理解し、生活に生かすことができるようにします。 - 衣服の手入れ、管理の必要性やその方法について、科学的に理解します。 - 私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活について考えます。
	第3章 住生活と住環境 1 どのような家に住みたい？ 2 安全に住もう 3 快適に住もう 4 住まいの課題と未来の暮らし	- 地震などの災害について備えたり、家庭内事故の要因を理解したりするなど、安全な住居についての基礎知識を身に付けます。 - 私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り、まちづくりに参加する重要性を理解します。
	第1章 食生活と健康	食事と健康とのかかわりや人の一生における食事の役割について理解し

2	1 なぜごはんを食べるの？ 2 私たちは何を食べているの？ 3 安全に食べよう 4 健康に食べよう 5 おいしく食べよう 6 これからも食事を楽しむために調理実習	ます。 ・ 日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について理解します。 ・ 調理の基本的な技術を身に付け、安全や衛生面に配慮した調理ができるようにします。 ・ 料理の盛り付けや配膳、食事のマナーの基本を理解します。 ・ 食品ロスなど具体的な問題点から、現代の食生活の問題や課題について考えます。 ・ 家庭基礎の学習を生かし、将来の生活に向かって目標を立て、自分らしい生活を設計します。
3	生涯の生活設計 2 1 自分の人生を豊かにしよう	